

新聞をつかった「やさしい日本語」研究会VOL.13

テーマ

「やさしい日本語でつながる、伝える・伝わる学び」
ー 子ども記者による取材と新聞づくり・
オリジナル絵本・ロボットを通した情報発信の実践 ー

「行永報道局」って…、何ですか？

京都のとある特別支援学校では、子どもたちが記者となり、地域のお店や施設、そこで働く人々への取材を行い、新聞づくりや情報発信に取り組んでいます。それが「行永報道局」。ここでは、取材を通して地域を知るだけでなく、知りたいことを考え、聴き、情報を整理し、誰かに伝えるという学びを大切にしています。

子どもたちが「伝えてもらう側」だけでなく「自分から伝える側」となり、地域や社会とつながっていく姿から、新聞・記者の学びとやさしい日本語の可能性、そして誰もが参加できる情報発信のあり方について、みんなで一緒に考えてみませんか？

11月27日(金) 19:30～20:45

前半：講演 後半：参加者による意見交換

お申し込みURL:<https://forms.gle/MGpGYU9RK7wojChE7>

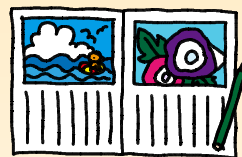


(11/24申し込み〆切)

ゲスト講演：森本有美さん（京都府立舞鶴支援学校 行永分校 教諭）

『入門・やさしい日本語』認定者養成講座 第12期生

- ・「行永報道局」子ども記者の活動報告
- ・子どもたちの興味や実態に応じたオリジナル絵本の作成
- ・コミュニケーションロボットを活用した取り組み
- ・「やさしい日本語」をはじめ、相手に伝わる言葉や表現を工夫することの大切さ



場 所：zoomオンライン

募 集：多文化共生・人権・教育・コミュニケーション・NIE等に興味のある方

参加費：無料

主 催：一般社団法人メディア教育協会NIEs2.0



※一般社団法人メディア教育協会NIEs2.0は、メディア教育・多文化共修・人権教育を柱に、教育現場と社会をつなぐ活動を行う非営利法人です

イメージキャラクター まくら君→

